

支援・介護度	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください			【問2-1で「3.」を選択の場合】	【問2-1で「4.」を選択の場合】	【問2-1で「5.」を選択の場合】	「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。	問3-1で選択したサービス利用の変更について、 本来であればより適切と思われる、具体的なサービス をお答えください	【問3-2で「12.」～「19.」を選択の場合】
	(1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください	(2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください	(3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください	理由となる、具体的な「 身体介護 」をお答えください	理由となる、具体的な「 認知症の症状 」をお答えください	理由となる、具体的な「 医療的ケア 」、 「医療処置 」をお答えください	※ 実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。		利用者の 入所・入居の緊急度 をお答えください
番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	番号1つ選択記入
支援1	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 見守り・付き添い	1. 家事に支障がある	1. 点滴の管理	1. より適切な「 在宅サービス 」に変更する(例:小多機能 等)	<在宅サービス> 1. ショートステイ 2. 訪問介護、訪問入浴 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	1. 緊急性が高い
支援2	2. 必要な生活支援の発生・増大	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	2. 移乗・移動	2. 一人での外出が困難	2. 中心静脈栄養	2. より適切な「 住まい・施設等 」に変更する(例:サ高住への入居、特養への入所 等)	2. 訪問介護、訪問入浴 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	2. 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫
介護1	3. 必要な身体介護の増大 ⇒【問2-4】	3. 生活不安が大きいため	3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	3. 食事摂取	3. 薬の飲み忘れ	3. 透析	3. より適切な「 在宅サービス 」もしくは「 住まい・施設等 」に変更する(例:サ高住への入居、特養への入所 等)	3. 訪問看護 4. 訪問診療 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	3. その他
介護2	4. 認知症の症状の悪化 ⇒【問2-5】	4. 居住環境が不便だから	4. 家族等の介護等技術では対応が困難	4. 排泄(日中)	4. 金銭管理が困難	4. ストーマの処置	4. 「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う ⇒【回答は終了です】	4. 小規模多機能 5. 看護小規模多機能 6. 訪問診療 7.	